

## 平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 北雄ラッキー株式会社  
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 川端 敏  
 (氏名) 後藤 扶美彰

TEL 011-643-3301

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	10,479	—	△86	—	△124	—	71	—
22年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	10.95	—
22年2月期第1四半期	—	—

(注)当社は平成23年2月期第1四半期より非連結となっているため、平成22年2月期第1四半期の経営成績(累計)及び平成23年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	19,756	3,951	20.0	608.63
22年2月期	19,079	4,089	21.4	629.83

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 3,951百万円 22年2月期 4,089百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	22,100	—	164	—	88	—	170	—	26.18
通期	43,800	—	442	—	310	—	250	—	38.50

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社は平成23年2月期第1四半期より非連結となっているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 6,645,770株 22年2月期 6,645,770株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 152,569株 22年2月期 152,569株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 23年2月期第1四半期 6,493,201株 22年2月期第1四半期 6,643,201株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ「定性的情報・財務諸表等3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

当社は、連結子会社でありましたエル食品株式会社及び株式会社アップルを平成22年3月1日付をもって吸収合併し、連結子会社がなくなったため、平成23年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前年同四半期との比較・分析については記載しておりません。

なお、「2. 財政状態に関する定性的情報」については、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した財務諸表との比較を行っております。

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間（平成22年3月1日～平成22年5月31日）におけるわが国経済は、アジア市場における需要拡大を背景に輸出関連業種などに持ち直しの動きが見られたものの、国内消費市場においては依然として続く不安定な雇用情勢や所得の先行き不安などから、個人消費回復の足取りは非常に重く、景気の回復も先行き不透明な状況で推移しました。

スーパーマーケット業界におきましても、このような厳しい経済情勢のなかで消費者の生活防衛意識や節約志向は一層強まり、デフレ傾向が鮮明となる市場環境下で、低価格での販売競争激化による販売単価の下落、さらに天候不順の影響を受けた青果物の高騰、また低温による衣料の不振など収益環境は大変厳しいものとなりました。

当社におきましては、回復の兆しの見られない消費動向や競合店との低価格競争に対処するため、低価格の打出しやポイントサービスの強化を図り売上高の確保を目指してまいりましたが、購買頻度の低下や競合激化の環境のもとで、来店客数の減少が影響し、売上高・売上総利益の確保につきましては大変に厳しい結果となりました。

この結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高10,479,413千円、経常損失は124,524千円、四半期純利益は子会社の吸収合併に伴う特別利益（抱合せ株式消滅差益）を152,678千円計上したため71,115千円となりました。

なお、当第1四半期会計期間における新設・閉鎖店舗はなく、3月に篠路店を、4月には栗山店を改装しております。

平成22年5月31日現在の店舗数は33店舗であります。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

##### ① 資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較し676,784千円増加し19,756,662千円となりました。その主な要因は、固定資産において建物及び構築物が合わせて276,563千円増加したこと、土地が391,782千円増加したことなどによるものであります。

##### ② 負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較し814,403千円増加し15,804,682千円となりました。その主な要因は、流動負債において短期借入金300,329千円増加したこと、固定負債において長期借入金が400,010千円増加したこと、リース債務が合わせて180,616千円増加したことなどによるものであります。

##### ③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較し137,618千円減少し3,951,980千円となりました。その主な要因は株主配当による減少51,945千円を含む、利益剰余金の減少133,058千円、その他有価証券評価差額金の減少4,559千円であります。

#### (2) キャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ197,834千円減少し、875,516千円となりました。

当第1四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は125,266千円となりました。これは主にたな卸資産の増加155,724千円などによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は655,289千円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が300,072千円あったものの、定期預金の預入による支出が270,000千円、有形固定資産の取得による支出が759,477千円であったことなどによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は582,720千円となりました。これは長期借入金の返済による支出が336,779千円あったものの、短期借入金の純増加が300,329千円、長期借入金による収入が727,500千円あったことなどによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、急速な消費回復は当面望めないことから、今後も引続き厳しい状況が続くもの予想しております。

第1四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成22年4月16日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

##### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 経過勘定科目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

##### ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合においては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合においては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

税金費用の計算

従来、税金費用については、当事業年度末の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益にこれに乗じて計算する方法により行っておりましたが、当第1四半期会計期間より年度決算と同様の手法で計算する方法に変更しております。

この変更は、消費の低迷や競合他社との競争激化等により、業績予測に基づく見積実効税率の合理的算定が困難になったことから、四半期会計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に四半期財務諸表へ反映させるために行ったものであります。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期累計期間の四半期純利益が56,424千円増加し、繰延税金資産（流動）が56,214千円及び繰延税金資産（固定）が209千円増加しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末  
 (平成22年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,695,516
受取手形及び売掛金	308,581
商品及び製品	1,726,801
原材料及び貯蔵品	53,431
前払費用	119,472
繰延税金資産	139,943
未収入金	269,862
その他	5,098
貸倒引当金	△600
流動資産合計	4,318,108
固定資産	
有形固定資産	
建物	8,952,199
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,173,339
建物（純額）	3,778,860
構築物	573,283
減価償却累計額及び減損損失累計額	△380,752
構築物（純額）	192,531
車両運搬具	12,674
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,419
車両運搬具（純額）	255
工具、器具及び備品	474,037
減価償却累計額及び減損損失累計額	△426,699
工具、器具及び備品（純額）	47,337
土地	7,628,105
リース資産	897,345
減価償却累計額	△269,129
リース資産（純額）	628,216
建設仮勘定	6,891
有形固定資産合計	12,282,196
無形固定資産	
ソフトウェア	3,366
電話加入権	18,228
無形固定資産合計	21,595
投資その他の資産	
投資有価証券	188,097
出資金	672
長期前払費用	43,563
繰延税金資産	459,208
差入保証金	2,341,519
保険積立金	91,260
その他	1,496
投資その他の資産合計	3,125,818
固定資産合計	15,429,610

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末  
(平成22年5月31日)

繰延資産	
社債発行費	8,942
繰延資産合計	8,942
資産合計	19,756,662
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,166,223
1年内償還予定の社債	600,000
短期借入金	4,059,039
1年内返済予定の長期借入金	890,024
リース債務	204,316
未払金	513,031
未払費用	252,344
未払法人税等	17,391
未払消費税等	34,276
前受金	19,851
預り金	99,011
賞与引当金	187,983
流動負債合計	10,043,493
固定負債	
社債	500,000
長期借入金	3,320,396
リース債務	428,389
退職給付引当金	825,974
役員退職慰労引当金	266,097
長期預り保証金	419,934
その他	398
固定負債合計	5,761,189
負債合計	15,804,682

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末  
(平成22年5月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	641,808
資本剰余金	
資本準備金	161,000
その他資本剰余金	304,258
資本剰余金合計	465,258
利益剰余金	
その他利益剰余金	
別途積立金	2,465,000
繰越利益剰余金	433,332
利益剰余金合計	2,898,332
自己株式	△51,143
株主資本合計	3,954,256
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△2,275
評価・換算差額等合計	△2,275
純資産合計	3,951,980
負債純資産合計	19,756,662

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	10,479,413
売上原価	7,961,136
売上総利益	2,518,277
営業収入	
不動産賃貸収入	70,476
運送収入	202,091
営業収入合計	272,568
営業総利益	2,790,845
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	147,639
配送費	168,259
販売手数料	172,157
給料及び手当	510,537
賞与引当金繰入額	75,364
退職給付費用	29,553
役員退職慰労引当金繰入額	2,473
雑給	621,714
水道光熱費	186,321
減価償却費	129,597
地代家賃	249,577
その他	584,012
販売費及び一般管理費合計	2,877,207
営業損失(△)	△86,362
営業外収益	
受取利息	2,481
受取配当金	2,765
債務勘定整理益	410
雑収入	8,221
営業外収益合計	13,878
営業外費用	
支払利息	49,635
社債発行費償却	919
雑損失	1,485
営業外費用合計	52,040
経常損失(△)	△124,524
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	215
抱合せ株式消滅差益	152,678
固定資産売却益	47
特別利益合計	152,941

(単位：千円)

当第1四半期累計期間  
(自平成22年3月1日  
至平成22年5月31日)

特別損失	
減損損失	6,380
固定資産除売却損	13,796
特別損失合計	20,176
税引前四半期純利益	8,241
法人税、住民税及び事業税	10,093
法人税等調整額	△72,967
法人税等合計	△62,873
四半期純利益	71,115

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間  
 (自 平成22年3月1日  
 至 平成22年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	8,241
減価償却費	129,597
長期前払費用償却額	2,871
減損損失	6,380
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75,364
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,893
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,473
受取利息及び受取配当金	△5,247
その他の営業外損益 (△は益)	△7,145
支払利息	49,635
固定資産売却損益 (△は益)	△44
固定資産除却損	13,793
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△152,678
その他の特別損益 (△は益)	△215
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,833
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△155,724
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43,576
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44,891
預り保証金の増減額 (△は減少)	30,822
その他	64,145
小計	△34,140
利息及び配当金の受取額	4,427
その他の収入	8,221
利息の支払額	△50,587
その他の支出	△1,485
法人税等の支払額	△51,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△270,000
定期預金の払戻による収入	300,072
有形固定資産の取得による支出	△759,477
有形固定資産の売却による収入	95
差入保証金の差入による支出	△10,714
差入保証金の回収による収入	65,504
その他	19,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,329
長期借入れによる収入	727,500
長期借入金の返済による支出	△336,779
リース債務の返済による支出	△56,391
配当金の支払額	△51,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	582,720
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△197,834
現金及び現金同等物の期首残高	995,479
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	77,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	875,516

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る  
 連結貸借対照表  
 (平成22年2月28日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,923,423
受取手形及び売掛金	293,747
商品及び製品	1,590,424
原材料及び貯蔵品	34,084
繰延税金資産	73,088
その他	499,930
貸倒引当金	△600
流動資産合計	4,414,098
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	9,282,646
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,587,818
建物及び構築物（純額）	3,694,828
車両運搬具	14,409
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,079
車両運搬具（純額）	329
土地	7,236,322
リース資産	660,337
減価償却累計額	△213,743
リース資産（純額）	446,593
建設仮勘定	10,098
その他	487,911
減価償却累計額及び減損損失累計額	△441,485
その他（純額）	46,425
有形固定資産合計	11,434,598
無形固定資産	
ソフトウェア	3,851
電話加入権	18,228
無形固定資産合計	22,080
投資その他の資産	
投資有価証券	197,122
繰延税金資産	448,632
差入保証金	2,395,308
その他	158,175
投資その他の資産合計	3,199,238
固定資産合計	14,655,916
繰延資産	
社債発行費	9,862
繰延資産合計	9,862
資産合計	19,079,877

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る  
連結貸借対照表  
(平成22年2月28日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,210,210
1年内償還予定の社債	600,000
短期借入金	3,758,710
1年内返済予定の長期借入金	899,313
リース債務	171,936
未払法人税等	71,707
賞与引当金	112,619
その他	992,989
流動負債合計	9,817,486
固定負債	
社債	500,000
長期借入金	2,920,386
リース債務	280,151
退職給付引当金	819,080
役員退職慰労引当金	263,624
その他	389,550
固定負債合計	5,172,792
負債合計	14,990,278
純資産の部	
株主資本	
資本金	641,808
資本剰余金	465,258
利益剰余金	3,031,391
自己株式	△51,143
株主資本合計	4,087,315
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,283
評価・換算差額等合計	2,283
純資産合計	4,089,599
負債純資産合計	19,079,877

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	11,214,908
売上原価	8,531,900
売上総利益	2,683,007
営業収入	
不動産賃貸収入	61,490
運送収入	211,811
営業収入合計	273,302
営業総利益	2,956,309
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	153,960
配送費	175,103
販売手数料	182,270
給料及び手当	512,030
賞与引当金繰入額	81,536
退職給付費用	30,455
役員退職慰労引当金繰入額	4,258
雑給	631,441
水道光熱費	186,061
減価償却費	135,351
地代家賃	264,944
その他	599,449
販売費及び一般管理費合計	2,956,861
営業損失(△)	△551
営業外収益	
受取利息	3,427
受取配当金	1,816
債務勘定整理益	404
雑収入	8,874
営業外収益合計	14,522
営業外費用	
支払利息	49,117
雑損失	555
営業外費用合計	49,673
経常損失(△)	△35,701
特別利益	
固定資産売却益	220
特別利益合計	220
特別損失	
固定資産除却損	2,040
特別損失合計	2,040
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,521
法人税等合計	11,126
四半期純損失(△)	△48,648

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

前第1四半期連結累計期間  
(自平成21年3月1日  
至平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,521
減価償却費	135,351
長期前払費用償却額	1,951
貸倒引当金の増減額(△は減少)	135
賞与引当金の増減額(△は減少)	79,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,257
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,338
受取利息及び受取配当金	△5,243
その他の営業外損益(△は益)	△8,723
支払利息	49,117
固定資産売却損益(△は益)	△220
固定資産除却損	2,040
売上債権の増減額(△は増加)	△123,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,826
仕入債務の増減額(△は減少)	559,186
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,582
預り保証金の増減額(△は減少)	△1,794
その他	127,649
小計	827,921
利息及び配当金の受取額	4,101
その他の収入	8,874
利息の支払額	△49,571
その他の支出	△555
法人税等の支払額	△91,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	699,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△190,000
定期預金の払戻による収入	270,000
有形固定資産の取得による支出	△18,641
有形固定資産の売却による収入	220
差入保証金の差入による支出	△15,655
差入保証金の回収による収入	18,737
その他	△2,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△494,997
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△175,353
リース債務の返済による支出	△59,969
配当金の支払額	△66,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	464,367
現金及び現金同等物の期首残高	878,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,342,823